

固定遊具による事故を防ごう！

日本スポーツ振興センターでは、「学校における固定遊具による事故防止対策」をテーマに2年間、調査研究を行いました。

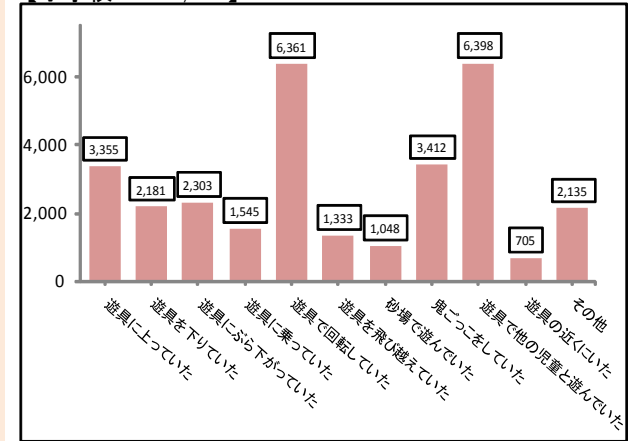
災害共済給付から得られる固定遊具事故のデータを使用して、子供たちが起こしやすい事故の特徴を小学校と幼稚園・保育所に分けて分析しました。さらに、遊具別の事故の特徴、子供たちへの安全指導のポイント、遊具の安全管理のあり方などを検討しました。

次の2ページ・3ページ目には固定遊具の点検、管理、安全指導のポイントをイラストで簡易にまとめていますので、ご活用ください。



この調査研究については、『学校における固定遊具による事故防止対策』調査研究報告書としてまとめました。センターホームページにて無償ダウンロードできますので、詳しくはそちらをご覧ください。

【小学校 n=30,776】



小学校では、友人との遊びの中で遊具を使った事故・鉄棒の技の失敗による事故が多く発生しています！

固定遊具は正しく使って遊ぼう！

安全指導のポイント

○登り棒

上の横の棒にはぶら下がらない！

友だちが登ってる下に入らない！

いきおいよく降りない！

前の友だちと間隔をあける！

順番を守る！

雲ていの上に乗らない！

いきおいよく飛びださない！

遊んでる友だちにさわらない！

○鉄棒

鉄棒の上立たない！

友だちが遊んでる下に入らない！

順番を守る！

揺れているぶらんこの前後に入り込まない

○ぶらんこ

物を持って登らない！

○雲てい

ぶらんこから飛び降りない！

■遊具ごとの指導上の留意点

小さな子どもたちほど、周りの状況をよく把握せずに自分の遊びに夢中になるため、他の子どもや遊具との衝突、遊具からの落下など、不注意から事故が発生する場合も多いものです。そのため、固定遊具で遊ばせる上で、遊具の安全点検とともに、子どもたちの発達や遊び方に応じた遊具ごとの安全指導が重要となります。

○ジャングルジム

危ないものは持ち込まない！

一番上で立たない！

高いところから飛び降りない！

ルールを守って楽しく遊び、遊びを通じて心身の能力を高める！

下から登らない！

順番を守る！

おり口の近くで遊ばない！

○すべり台

教師のための遊具点検10か条

〔日頃からの管理〕

- ① 点検は定期的・継続的・組織的に行っていますか。(毎日・毎週・毎月・毎年)
- ② 遊具の使用法、危険箇所を発見したときの対処方法、事故が起きた場合の対応はマニュアル化され、かつ共通理解が図られていますか。

〔遊具の点検・対策〕

- ③ 設置面が固くなっていませんか。*1
- ④ ぐらつきや錆はありませんか。
- ⑤ 引っかかりや絡まりを起こす部分はありませんか。
- ⑥ けがをした児童・園児を救助するため、大人が入れるようになっていませんか。

〔遊具の環境整備〕

- ⑦ 他の遊具との距離、周囲に十分な空間がありますか。*2
- ⑧ 見通しの良い場になっていますか。
- ⑨ 遊具の周りに危険なものはありませんか。(石、ガラス、木の根、地面の凹凸等)
- ⑩ 安全柵、落下防止柵はありますか。*3

*1 アスファルト、コンクリートなどの固い設置面が、遊具の周囲 1.8m 以内でないこと。

*2 遊具と遊具の間隔は、2.7m 以上とること。

*3 柵、ガードレール、はしごなどに 10cm 以下 23cm 以下の間隔がないこと。(首がはさまる可能性がある)

参考 (日本公園施設業協会：遊具の安全に関する基準 JPFA-S：2008 より)

